

第6学年2組 国語科学習指導案

令和2年10月23日 第3校時
場所 6-2教室 指導者 長尾一葵

1 単元 『鳥獣戯画』を読む

2 単元について

- (1) 本単元では、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考え、目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることをねらいとしている。また、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができることをねらいとしている。

本題材「『鳥獣戯画』を読む」は、筆者の考え方や資料や言葉の使い方の工夫を捉えることができると考えられる。その際、単元全体のめあてとして「書くこと」を設定することで、読み手としてだけでなく、書き手の立場も意識して読む力を身につけさせたい。

- (2) 子どもたちは、第5学年の「グラフや表を用いて書こう」で、目的に合った資料を選び、資料と文章を対応させて書く力や、第6学年の「笑うから楽しい／時計の時間と心の時間」で、筆者の主張と、それを支える事例を捉え、自分の考えをまとめる力をつけている。

本単元では、これらの学習を生かして、自分の考えが、より相手に伝わるように文章や資料を用いて表現する学習に取り組む。この学習は、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる単元「今、あなたに考えてほしいこと」に繋がる。

- (3) 本単元に関する子どもの実態は、次の通りである。（調査人数36人）

- ①
- ②

- (4) 指導にあたっての留意点は次の通りである。

- ① 単元の導入では、題材文の題名から絵を「読む」とはどういうことかを考えさせたり、単元後半にパンフレットを作ることを提案したりして課題意識をもたせる。
- ② 筆者が、絵のどの部分を取り上げ、何に注目しているか、本文に線を引かせるなどして読み取らせる。
- ③ 「絵」と「絵巻物」に対する評価が分かる叙述に、別々の色を使って線を引かせて、視覚的に捉えられるようにする。
- ④ 特に、本時の学習については、次の点に留意する。
 - ・グループで意見を出し合わせながら、筆者の着目点とその解釈を確認しつつ、各自の意見についても述べ、それぞれの考え方を共有できるようにする。

3 単元の目標

- (1) 読書に親しみ、読書によって、ものの見方や考え方を広げられることに気づくことができる。
- (2) 目的に応じて、筆者の伝えたいことと、絵などの資料の使い方や表現の工夫、論の進め方との関わりを捉えることができる。
- (3) 文章と図表などを結び付けて必要な情報を読み取ることに粘り強く取り組み、絵や写真などを用いた文章を書いたりするときに生かしていこうとしている。

4 指導計画（4時間取り扱い）

- (1) 単元の全体像を捉え、学習の見通しをもつ。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (2) 筆者の評価を読み取り、伝え方の工夫に気づく。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間

5 本時の学習

- (1) 目標 筆者が、絵の描き方や絵巻物について、どんな感じ方や評価をしているか、絵と文章を照らし合わせながら読み取ることができる。

(2) 展開

主たる学習活動	時間	指導上の留意点	備考
1. 前時の振り返りをもとに、本時のめあてを確認する	5分	○ 前時間で絵を「読む」ことはどういうことかを考えた。今回は具体的に絵をどのように読んでいたかについて詳しく触れるため、次の課題を設定する。	
絵と文章を照らし合わせながら、筆者の見方をとらえよう。			
2. 筆者が「絵」のどこに着目しているかを考え、絵と文章を線でつなぐ。	20分	○ まず「絵」についての記述を読んでいき、蛙の口からの線に筆者が着目していることを示す。その後、他にどこに筆者が着目しているかを探そう指示する。 予想： ・ポーズだけでなく、目と口の描き方 ・背中や右足の線 ・目も口も笑っている ・兎たちは笑っていたのだろうか ↑これは前の時間に関連	ワークシート 黒板
3. グループで、線を引いた箇所を確認し合い、自分がどういう解釈をしたかの意見を出す。	15分	○ 筆者の解釈について話し合う時に、自分の筆者の解釈と同じか、また違う場合どう思ったかについて話し合わせるよう指示する。 ○ 話し合いや作業をしている最中の児童の呟き(違った視点からの独自の解釈等)を丁寧に拾い、発表の場でうまく引き出せるよう準備をしておく。	ワークシート
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 【評価】 文章と絵を結びつけて、筆者のものの見方や考え方を的確に捉え、筆者とは別で自分の視点も持つことができる。 (ワークシート) </div>			
4. 本時の学習を振り返る。	5分	○ 本時の学習で筆者の解釈と自分の解釈を比べてみて、振り返りをワークシートに記述させる。	ワークシート